

全国大学音楽教育学会研究紀要投稿・執筆要領

全国大学音楽教育学会研究紀要編集規程第4条及び第5条に基づき、次のように研究紀要投稿・執筆要領を定める。

【投稿に関わる事項】

1. 「論文」は、学術的な研究成果等のあるテーマについて論理的に述べたものを取扱う。紀要編集委員会（以下、「委員会」という。）において査読を行い、掲載の可否を決定する。
2. 「研究ノート」は、学会誌にふさわしい研究、調査等の記事を取扱う。委員会において査読を行い、掲載の可否を決定する。
3. 「実践報告」は、投稿者の所属機関等における授業実践等の報告を取扱う。委員会における査読は行わないが、掲載の可否を検討し決定する。
4. 「書評・紹介」は、教員、保育者養成に関わる音楽教育の発展に寄与と思われる図書、視聴覚教材等の批評、紹介を取扱う。図書、視聴覚教材等は、原則として5年以内に刊行あるいは発売されたものを対象とする。委員会における査読は行わないが、掲載の可否を検討し決定する。
5. 「反論」は、本会研究紀要に掲載された論文等に対する反論を取扱う。論文等は、原則として3年以内に掲載されたものを対象とする。委員会における査読は行わないが、掲載の可否を検討し決定する。

【執筆に関わる事項】

1. Microsoft - Word を使用し、B5 用紙横書き 40 文字×34 行、本文は MS 明朝 10.5 ポイントで執筆する。
2. 頁の上限は、英文要旨及び注釈等を含み、「論文」が 10 頁、「研究ノート」及び「実践報告」が 6 頁、「書評」及び「反論」が 4 頁、「紹介」が 2 頁とする。
3. 1 行目に和文タイトル、2 行目に英文タイトル、3 行目に所属校名及び投稿者名、4 行目に投稿者の英文名、5 行目に所属する地区学会名を記載する。但し、タイトルが 2 行に渡る場合等はその限りでない。
4. 「論文」「研究ノート」及び「実践報告」は、3 の後、200 語程度の英文要旨を記載する。
5. 4 の後、論文の内容を示すキーワード（5 語以内）を日本語及び英語で記載する。
6. 図、表、楽譜等は、鮮明なもの（白黒）を原稿挿入位置に貼付する。
7. 注、註、注釈などは「注」に統一する。また、「注」と「引用文献」は区別し、「注」は本文の補足説明、「引用文献」は文献史料の記載とする。
8. 査読を円滑に行うために、600 字程度の和文による要旨を添付する。
9. 提出に際し、委員会の委員長及び委員会の事務局あてに原稿をメールで配信する。また、印刷した原稿 3 通を委員会の事務局へ書留にて郵送する。
10. 査読を経て最終提出する際には、電子媒体にテキストファイルで記録したデータを提出する。

【申合せ事項】

1. 英文要旨は、投稿者の責任において英語を母国語とする人等の検閲を受ける。
2. 引用文は、次のとおり扱う。

1) 本文中の引用文は「」で括る。
2) 引用文には[1]、[2]のように、文末右上に通し番号を付け、本文の最後の引用一覧にまとめて記載する。

3) 引用文で必要のない部分を省略する場合は、「～（中略）～」とする。

3. 文献は、次のとおり扱う。

1) 引用文献は、著者名、発行年、『書名』、発行所、頁の順に記載する。また、雑誌等の場合は、著者名、発行年、「論文名」『雑誌名・紀要名』巻号、頁の順に記載する。文献が欧文の場合は、書名をイタリック体で記載する。

2) 本文中の「注」で、同じ文献をくりかえし取り上げる場合は、先に挙げた文献の注番号のみとし、引用した頁を記載する。

3) 引用文が単頁の場合は、「p. 00」、複数頁に亘る場合は、「pp. 00-00」と記載する。

〔記載例〕

・南 曜子(1999)「言語習得期における発話と歌の関係」『音楽教育学』第 29-1 号、pp. 17-18.